

経営比較分析表（令和元年度決算）

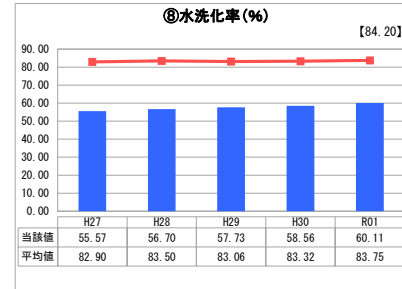
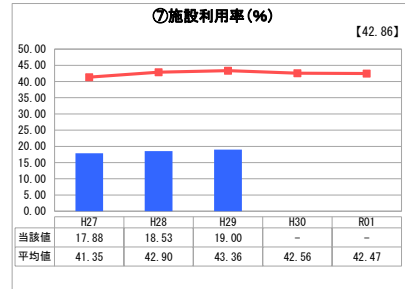
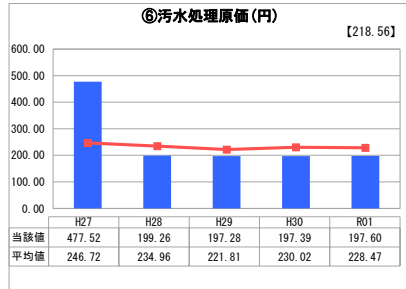
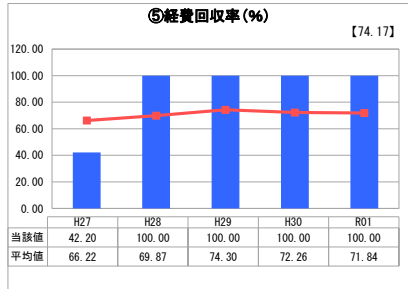
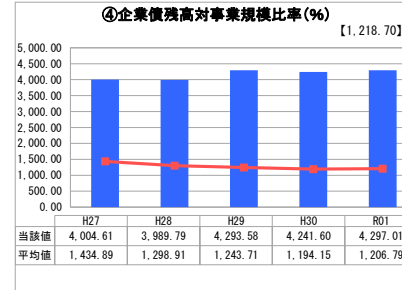
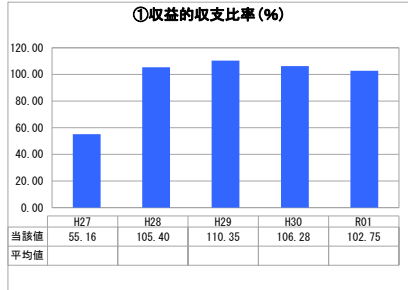
山形県 遊佐町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料(円)
-	該当数値なし	36.57	94.91	3,740

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,655	208.39	65.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,949	2.33	2,124.03

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

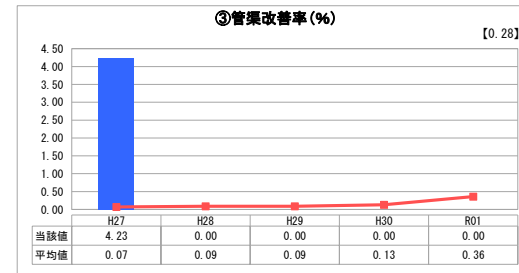
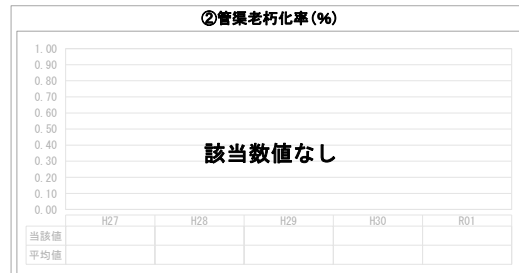
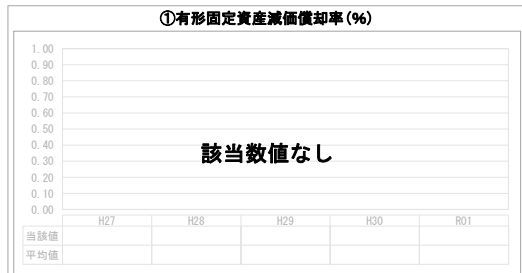
①収益的収支比率については、地方債償還金の増により昨年度より低下したが、100%以上は維持している。
 ④企業債残高対事業規模比率については、整備工事中で借入をしているため、地方債現在高は増加しているが、営業収益は横ばいのため昨年度より比率が上がった。類似団体と比較しても高い数値となっている。
 ⑤経費回収率については、100%を維持しており、使用料で回収すべき経費は全て使用料で賄えている。
 ⑥汚水処理原価については、横ばいで推移している。類似団体と比較しても若干低い数値で推移している。
 ⑦施設利用率については、公共下水道事業と同じ処理場を使用しており、独自の処理場を有していないため昨年度から0で計上している。
 ⑧水洗化率については、整備工事中であり、少しずつだが右肩上がりで推移している。

2. 老朽化の状況について

令和2年度より3年計画でストックマネジメント計画の策定業務に着手している。施設の点検、調査を実施し、修繕、改築計画を策定後、財政状況を見ながら計画的な更新に努めていく。

※③のH27当該値は「4.23」となっているが「0」が正しい。

2. 老朽化の状況



全体総括

収益的収支比率が100%を超え、経費回収率も100%を維持しているため、概ね健全な経営状況となっている。整備工事が令和元年度で完了し、今後は維持管理に力を入れていくことになる。汚水処理にかかる経費の見直しや、維持管理費に必要な使用料収入を確保するため水洗化率の向上を図り、健全な経営を維持していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。